

# 悠

滋賀大学大学院  
経済学研究科(博士前期課程)  
説明会

ゆったりと深まる学びの歴史

経済学研究科の案内  
入学者選抜方法について

# 経済学研究科の案内

グローバル・スペシャリスト（高度専門職業人）の養成をめざし、教育体制を整備・充実

多様な入学選抜方法





グローバル・スペシャリスト（高度専門職業人）の養成をめざし、教育体制を整備・充実



- 1973年度 大学院の新設（経済・経営学）
- 2001年度 グローバル・ファイナンス専攻の新設
- 2002年度 野村総合研究所（我が国最大のシンク・タンク）との連携大学院を設置
- 2003年度 博士後期課程の新設
- 2019年度 データサイエンス副専攻を設置
- 2022年度 ビジネス・データサイエンス専修プログラムを設置

【詳しくは学生募集要項参照】



# ビジネス・データサイエンス専修プログラム (1年制社会人コース)



★社会人入試（一般社会人・派遣社会人）の選抜に導入

## 教育内容

経済学研究科の専門科目等に加えてデータサイエンス研究科の専門科目を履修し、実務家教員の指導や専門性の高い授業を通じて、現実の問題や実際のデータを活用したデータ分析を意思決定につなげる手法を学ぶ

## 特色

企業派遣などの社会人でも、集中的学習とキャリアとの両立をはかれ、1年間の集中的な学習で修了可能

## 募集人員（夏季・冬季の合計）

専攻	令和5年度
経済学	13
経営学	13
G・ファイナンス	6
計	32

# 多様な入学選抜方法（夏季募集日程）

〔一般入試〕

〔推薦入試〕

〔社会人入試〕（一般社会人・熟年社会人・派遣社会人）

〔外国人留学生入試〕

**出願期間** 8月22日(月)～8月26日(金) 16時迄

**試験実施** 令和4年9月15日(木)

**合格発表** 令和4年10月7日(金) 13時（予定）



# 1. 一般入試 令和4年9月15日（木）

筆記試験 2科目を出願時に選択

英語については、本学での筆記試験は実施せず、TOEIC（Listening & Reading Test）の成績を利用します。

英語選択者 9時30分～11時00分

英語以外選択者 9時30分～11時00分

11時10分～12時40分

口述試験 14時00分～

提出された「研究計画書」を中心に、

希望研究分野に関して口述試験を行います。



# 一般入試 筆記試験の出題科目と科目等選択方法

## 筆記試験 出題科目

類 型	出 題 科 目
A類 経済学	「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」 「国際経済論」
B類 経営学	「経営学総論」「マーケティング論」「統計学」
C類 財 政	「税法」
D類 社会・歴史	「経済・経営史」
E類 会計学	「管理会計」
F類 英 語	「英語」

注「英語」については、本学での試験は実施せず、TOEIC (Listening & Reading Test)の成績を100点満点に換算して利用します。

## 科目等選択方法

専攻名	科 目 等 選 択 方 法
経済学	A類、C類、D類、F類 から2科目を選択
経営学	B類、D類、E類、F類 から2科目を選択
グローバル・ ファイナンス	A類、C類、E類、F類 から2科目を選択 ただし、内1科目は「金融論」、「税法」、「管理会計」の中より選択

注 「F類 英語」から選択できる科目は1科目のみです。「F類 英語」以外の2科目を選択する者は、出願時に解答する順序を指定してください。なお、「英語」を選択する者は、「入学志願票」の第2科目欄に「英語」と記入してください。（試験当日に受験科目及び解答順序の変更はできません。）





## 2. 推薦入試



### 選抜方法

出願書類一式及び口述試験の結果を総合して判定

### 口述試験

提出された「エッセイ（小論文）」及び「研究計画書」等を中心に，希望分野に関する口頭試問

### 口述試験期日及び試験時間

令和4年9月15日（木）10時00分～



## 推薦入試の出願資格 & 推薦要件



推薦資格 & 要件は、A・Bの2種類



それぞれ推薦要件も異なります！

標準年限で卒業する見込みの方に限り  
つまり「4年制」であれば、4年間で卒業する  
見込みの方が有資格者です

(B推薦については経過措置あり)

※A・Bいずれの推薦も、合格した場合には、  
入学することを確約できる方に限り。



# A推薦入試の出願資格 & 推薦要件



## A推薦の推薦要件

- ①演習指導教員または関連分野の教員が推薦
- ②次の1・2のいずれかに該当する方

1. 3年次修了時点において既に100単位以上を修得し、そのうち60%以上がS（秀），A（優）を占める者  
なお、修得単位数には認定単位は算入しない。

2. 大学の3年次へ編入学をした者で受験を希望する者は、次に該当する者とする。

3年次修了時点において認定単位を含めて既に100単位以上を修得し、そのうち3年次における取得単位数が40単位以上であり、かつ3年次取得単位数の60%以上がS（秀），A（優）を占める者

なお、3年次修得単位数には認定単位は算入しない。



## B推薦入試の出願資格 & 推薦要件



### B推薦の推薦要件

- ①演習指導教員または関連分野の教員 **2名**が推薦
- ②次の要件に該当する方
- ③留学生はコロナ対応の経過措置あり

大学院での研究を進める上で特に優れた資質を有する者

(例えば、懸賞論文等に入選した者、大学院で専攻する分野に関する科目に関して優れた成績を修めた者、着想力・論理的思考能力・分析能力・表現力において特に優れた能力を有する者など)



### 3. 社会人入試（一般社会人）

令和4年9月15日（木）

#### 出願資格

令和5年4月1日現在，【大学卒業後若しくは学士の学位取得後1年以上社会人としての経験を有する者】又は【満25歳以上の者】

筆記試験 9時30分～11時00分

1科目を出願時に選択

口述試験 13時00分～

提出された「研究計画書」を中心に，

希望研究分野に関して口述試験を行います。



# 筆記試験の出題科目と科目等選択方法

## 筆記試験 出題科目等

類 型	出 題 科 目
A類 経済学	「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」 「国際経済論」
B類 経営学	「経営学総論」「マーケティング論」「統計学」
C類 財 政	「税法」
D類 社会・歴史	「経済・経営史」
E類 会計学	「管理会計」

## 科目等選択方法

専攻名	科 目 等 選 択 方 法
経済学	A類、C類、D類 から1科目を選択
経営学	B類、D類、E類 から1科目を選択
グローバル・ ファイナンス	A類、C類、E類 から1科目を選択

## 4. 社会人入試（熟年社会人）

令和4年9月15日（木）

### 出願資格

一般社会人の中で令和5年4月1日現在、  
【満40歳以上の者】

### 小論文

出願時に「博士前期課程で研究したいテーマ」  
についての小論文を提出

### 口述試験

上記の小論文を中心として行います。

## 5. 社会人入試（派遣社会人）

令和4年9月15日（木）

### 出願資格

令和5年4月1日現在，【大学卒業後若しくは学士の学位取得後1年以上社会人としての経験を有する者】又は【満25歳以上の者】で，事業所（官公庁・銀行・企業・各種団体等）に勤務し，令和5年3月31日時点で1年以上勤務した事業所から派遣証明のある者

### 選抜方法

提出された「研究計画書」を含む出願書類及び口述試験の結果を総合して判定します

# ビジネス・データサイエンス専修プログラムの出願資格と選抜方法

## 出願資格

○一般社会人・派遣社会人の中で，令和5年4月1日現在，【大学卒業後若しくは学士の学位取得後**3年以上社会人としての経験**を有する者】

※統計検定2級（一般財団法人統計質保証推進協会）程度を理解していることがのぞましい。

## 選抜方法

○募集人員は**6名**程度

○出願時に当該プログラムの**履修希望**を申請

○提出された「**研究計画書**」を含む出願書類及び**口述試験**の結果を総合して判定します

# 6. 外国人留学生入試

令和4年9月15日（木）

## 出願資格

（1）日本国籍を有しない者で、外国において、学校教育における16年の課程を修了し、経済学、経営学及び商学関係の学士相当の知識を有する者

※ただし、日本の大学(大学院を含む)を卒業又は卒業見込みの者は出願資格を有しない。

（2）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で令和4年4月1日現在22歳に達した者

例えば、3年制の「専科大学」を卒業＋大学等の「研究生」で合計「16年の課程」＝出願の資格ありと認められる場合がある。

※（2）で出願する場合、8月1日（月）16時までに、必ず事前審査の申請をしてください。



# 〔外国人留学生入試〕

令和4年9月15日（木）

筆記試験 9時30分～11時00分

1科目を出願時に選択

口述試験 13時00分～

提出された「研究計画書」を中心に、

希望研究分野に関して口述試験を行います。

「研究計画書」は日本語で自書で記載してください。

パソコン等で作成しないこと

提出書類に日本語訳が必要な書類を確認してください。

# 筆記試験の出題科目と科目等選択方法



## 筆記試験 出題科目等

類 型	出 題 科 目
A類 経済学	「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」 「国際経済論」
B類 経営学	「経営学総論」「マーケティング論」「統計学」
C類 財 政	「税法」
D類 社会・歴史	「経済・経営史」
E類 会計学	「管理会計」

## 科目等選択方法

専攻名	科 目 等 選 択 方 法
経済学	A類、C類、D類 から1科目を選択
経営学	B類、D類、E類 から1科目を選択
グローバル・ ファイナンス	A類、C類、E類 から1科目を選択

注：筆記試験は日本語で出題します。



## ○外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度

従来からの授業料免除制度とは別に、外国人留学生を対象とした授業料免除制度を設けています。この制度は、外国人留学生の中で、入学試験時の成績が優秀である者を対象として、授業料の全額（入学年度1年間）を免除するものです。

## ○長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等のために標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。事情に応じて標準の修業年限(2年)を超えて、一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、2年間（標準の修業年限）分の授業料総額を、あらかじめ認められた一定の修業年限で除した額で、それぞれの年に支払うこととなります。

※ビジネス・データサイエンス専修プログラムを履修する学生は、長期履修学生制度を利用することができません。

## ○検定料免除特例措置

大規模な災害発生に伴う被害に対して、被災者の負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るため、入学料検定免除の特例措置を設けています。

# 注意事項

★ 過去2年間の筆記試験問題が、経済学研究科受験案内ホームページからダウンロードできます。

※志願者がおらず出題されなかった科目は、ホームページで選択できません。出題が少ない科目は代わりに「標準的問題例」を掲載しているので、参照して下さい。

★冬季募集の筆記試験については、選択できる科目が異なりますので、冬季募集要項を確認してください。

★ 出願期間

〔推薦入試・一般入試・社会人入試(一般・熟年・派遣)・外国人留学生入試〕

令和4年8月22日(月)～8月26日(金) 16時 (必着)